

【事例紹介】弘前大学 ビッグデータ解析チームを形成

※バイオインフォマティクス・生物統計・臨床統計分野の第一級専門家が集結
“(データの)標準モデル化” “予防・先制医療” “個別化医療・精密医療” “健康社会モデル”

京都大学



ビッグデータ解析による 新たな疾患概念の構築

岩木ビッグデータの統合的な解析手法を開発し、従来の疾患概念とは異なる新たな疾患概念を構築することにより、次世代の個別化医療・予測医療の実現を目指す。

大学院
医学研究院
臨床システム
腫瘍学

奥野 恭史 教授
(BD解析タスクチーム
リーダー)

東京大学



超多項目データの 新たな解析方法の開発

超多項目の健康ビッグデータの特性を生かし、新たな解析方法を開発することにより、研究成果の導出を支援する。

大学院
医学系研究科
生物統計学分野

松山 裕 教授

東京大学



ゲノムビッグデータ解析 による疾患予兆予測

スーパーコンピュータを用いた大規模ゲノム解析を活用し、ゲノムデータと生活習慣・社会環境データを対応させることにより、革新的な疾患予兆法を開発する。

医科学研究所
ヘルスインテリ
ジェンスセンター
健康医療データ
サイエンス分野

井元 清哉 教授

弘前COIを中心とした 強力なBD解析体制



弘前大学
Hiroaki University



HIROSAKI COI
center of innovation

統括: 中路教授 副統括: 相馬助教

名古屋大学



ビッグデータ解析による 生活習慣病の予兆法開発

岩木ビッグデータをその特性を生かしながら統計学を活用して解析し、効果的な生活習慣病の予兆式を開発して、早期発見・予防につなげる。

医学部附属病院
先端医療
臨床研究支援センター
統計解析室 バイオ
インフォマティクス担当

**中枋 昌弘
病院助教**

東京大学



ビッグデータ解析による MCI予兆法の開発

岩木ビッグデータをその特性を生かしながら統計学を活用して解析し、生活習慣・社会環境も考慮した革新的なMCIの予兆式を開発して、MCIの早期発見・予防につなげる。

大学院
医学系研究科
生物統計
情報学講座

**平川 晃弘
特任准教授**

生物統計 × バイオインフォマティクス × 機械学習 × スーパーコンピューティング × シミュレーションの融合